

平成31年度より

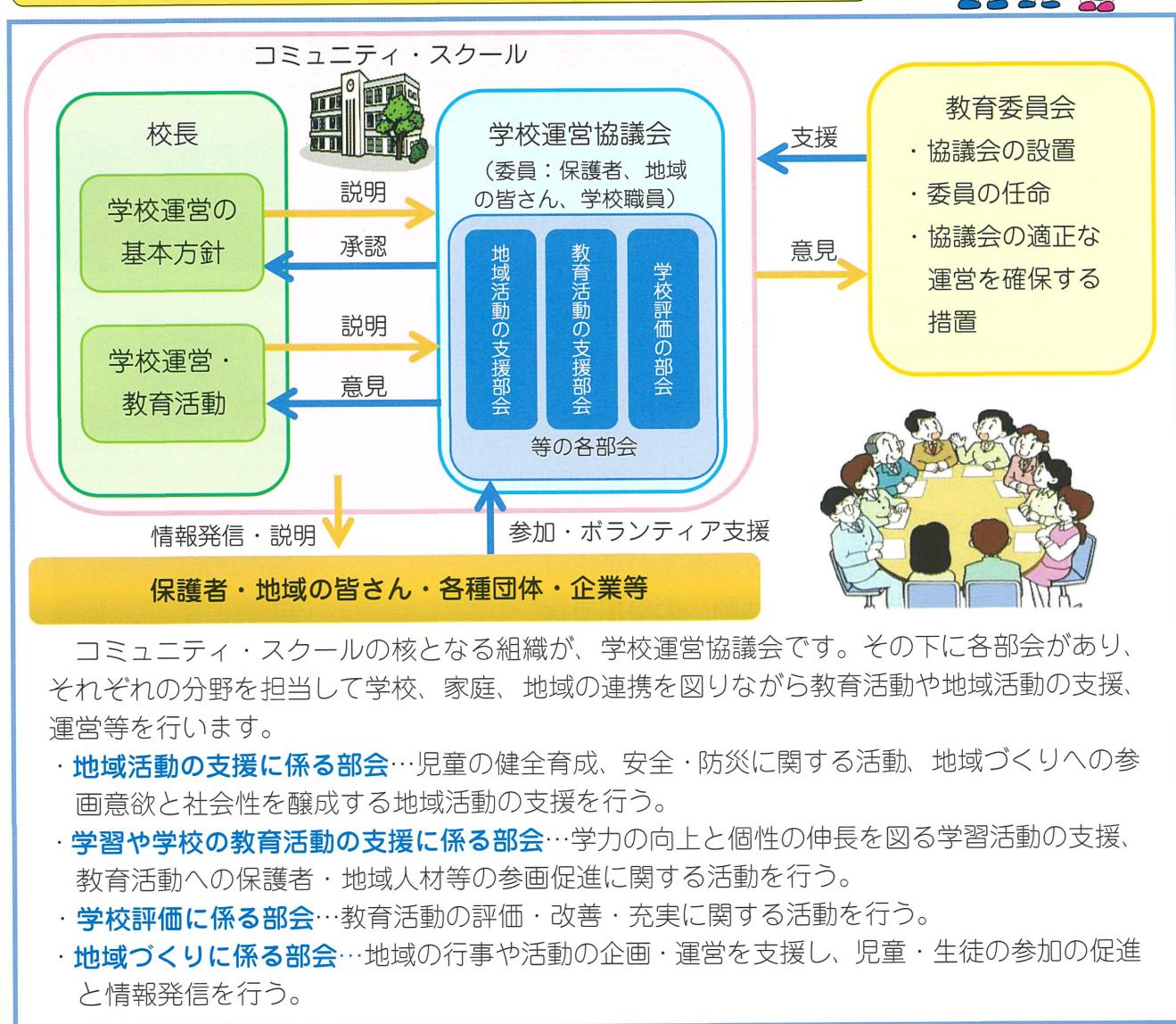
# 輪之内町全小中学校で コミュニティ・スクールを実施します

## ～地域とともにある学校づくりを目指して～

輪之内町では、平成30年度に大藪小学校で学校運営協議会を設立し、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めてきました。また、他の小中学校において、輪之内町コミュニティ・スクール推進協議会を立ち上げ、学校運営協議会制度を導入した学校運営の準備を進めてきました。

平成31年度より、輪之内町全小中学校において、未来を担う子どもたちの豊かな成長や、子ども・学校・地域が抱える様々な課題の解決のために、学校・地域・家庭の三者が互いに知恵を出し合い、協力しながら「地域とともにある学校」づくりを進めていきます。

### Q1. コミュニティ・スクールはどんな仕組みなの？



コミュニティ・スクールの核となる組織が、学校運営協議会です。その下に各部会があり、それぞれの分野を担当して学校、家庭、地域の連携を図りながら教育活動や地域活動の支援、運営等を行います。

- ・**地域活動の支援に係る部会**…児童の健全育成、安全・防災に関する活動、地域づくりへの参画意欲と社会性を醸成する地域活動の支援を行う。
- ・**学習や学校の教育活動の支援に係る部会**…学力の向上と個性の伸長を図る学習活動の支援、教育活動への保護者・地域人材等の参画促進に関する活動を行う。
- ・**学校評価に係る部会**…教育活動の評価・改善・充実に関する活動を行う。
- ・**地域づくりに係る部会**…地域の行事や活動の企画・運営を支援し、児童・生徒の参加の促進と情報発信を行う。

生きる力、  
学力の育成

地域の  
教育力向上

地域コミュニティ  
の構築

Q2. コミュニティ・スクールのメリットや魅力って何かな？



### 1. 組織的・継続的な体制の構築 = 持続可能性

校長や教職員の異動があっても、学校運営協議会によって地域との組織的な連携・協働体制がそのまま継続できる「持続可能な仕組み」です。

### 2. 当事者意識・役割分担 = 社会総掛かり

学校運営協議会での協議等を通して、子どもたちがどのような課題を抱えているのか、地域でどのような子どもを育てていくのか、何を実現していくのかという「目標・ビジョンを共有」できます。

### 3. 目標・ビジョンを共有した「協働」活動

校長が作成する学校運営の「基本方針の承認」を通して、学校や地域、子どもたちが抱える課題に対して関係者がみな当事者意識をもち、「役割分担をもって連携・協働による取組」ができます。

Q3. 保護者や地域住民として、どんな協力ができるかな？



## スクール・サポーターを各校で募集します！

### 1. 学校活動支援

- 学校行事や学習活動の支援

校区文化祭への参加要請や協力。地域の歴史や祭りなどの文化、治水や水との闘いの歴史、昔のくらしや遊び、戦争体験等について話す。学習相談、読み聞かせ、校外学習の引率補助、裁縫やミシン操作、調理実習などの支援、クラブ活動の講師など。

- 環境整備等の支援

花壇や畑づくり、校庭の草刈り、資源回収の協力など。



### 2. 安全安心支援

- 見守り隊：児童の登下校の様子の見守り。

### 3. 地域行事、ボランティア活動への参加支援

- ふれあいラジオ体操、校区ふれあい運動会などへの参加要請や協力など。

※ 上記は一部の内容です。詳しくは、各校の募集チラシをご覧ください。



問い合わせ：輪之内町コミュニティ・スクール推進協議会（事務局：輪之内町教育委員会）

TEL：0584-69-4500 FAX：0584-69-4592